

平成27年度事業報告書

大慈学童クラブ

1. 《平成27年度法人ビジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《基本方針》

- ①児童福祉法の理念及び法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき児童の人権を尊重する。
- ②共同で行動することを通して、生活習慣、人間関係、思いやり等が身につくように援助する。

3. 《大慈学童クラブにおける中長期ビジョン》

- ・地域福祉の一環として、地域のニーズに応え、利用者が安心して利用出来るサービスを提供する。また各利用者が集団生活を通し、思いやりの心と考える力を育める様、努める。

4. 《目標》

- ①利用者のニーズを把握し、ニーズに沿ったサービスを提供する。

- A) 定額制での延長保育の受け入れ。
- B) 対保護者への子どもに関する相談業務。
- C) 昼食会の質の向上。
- D) 行事内容の充実

- ・昨年と同様、19:00まで延長保育の受け入れをし、19:00までにお迎えに来られない場合は、19:00以降も延長保育を行った。また、希望者には、延長保育料の定額制の受け入れも行った。
- ・特別な配慮が必要な児童には、日頃より保護者と連携を取り、児童が学童で過ごしやすい様に努めた。
- ・夏休み期間中は気温等の関係で、外遊びの時間に限りがあるので、学童が利用料の補助をし、スイミングスクールへ行ったり等、室内のプログラムが充実にする様に努めた。

- ②リスクマネジメントに基づき、リスクの軽減を図る。

- A) リスク会議の場だけではなく、日頃よりリスクマネジメントを意識し、リスクの軽減に努める。

- ・学童保育中に気象警報が発令された場合や、不審者の情報が入った際は、危険が伴わない様、必要に応じて、送迎等について保護者に連絡確認し、個別に対応した。
- ・学童保育中にリスクマネジメントの面で、改善が必要と思われる事があった場合は、その都度、職員間で話し合い、リスクの軽減に努めた。

- ③職員の資質の向上。

- A) ビジョンに沿ったサービスの提供、保育が出来る様に各職員、資質の向上に努める。
(研修参加・価値観の共有化等)

- 今年度も、外部から講師を招き、コーチング研修を行った。言葉の伝え方や物事の見方等、保育をする立場として、豊かな感性が養える様、今後も研修等を通し、職員の資質の向上に努めていきたい。

5. 《保健衛生》

- ・集会室のエアコンのクリーニングを業者に依頼した。
- ・集会室の床を毎日（日曜日は除く）、モップをかけた。
- ・害虫駆除を行った。

6. 《消防避難訓練》

- ・昼間実施の場合に参加した。

7. 《広報》

- ・保護者、各区役所、神戸市役所こども企画育成部に、学童新聞を発行した。
- ・新聞の内容に生活情報や豆知識等、暮らしに役立つものを加え、内容の充実を図った。

8. 《会議》

学童委員会（月1回）

→今年度も学童委員長を中心に話し合いをした。特別に配慮が必要な児童への対応、保護者への対応、学童のルール、行事の内容について話し合いをした。今後も地域福祉として、保護者のニーズに応えられる様、有意義な会議にしていきたい。

9. 《行事内容》

①屋台村

→今年度も屋台の店番を職員だけではなく、3年生の児童にしてもらった。今後も様々な体験を通し、子ども達の自主性が養える様に行事の内容・実施方法については、考えていきたい。

②もちつき

→学童全員を対象に、お餅をつく事と丸める事の両方をした。また、丸めたお餅を食べきれない場合は、家に持って帰れる様にした。今後も季節の催しを体験し、子ども達の経験が増える様に引き続き行っていきたい。

③お別れ会

→提供する食事のメニューについて、子ども達にアンケートをとった。モスバーガーか手作りのどちらが良いか聞くと、「手作りの方が良い」「ハンバーグが食べたい」との希望が多かった為、手作りの料理を提供した。（メニューにハンバーグも入れた）子ども達には好評だった為、今後も食育という面を踏まえて、行事（食事）内容を考えていきたい。

月	日	行 事	月	日	行 事
4	8	昼食会	9	1	昼食会
	9	花見		19	昼食会
	13	昼食会 のびっ慈 day (しおり作り)		29	のびっ慈 day (ステンドグラス風工 作)
5	16	昼食会	10	5	グループワーク (総合運動公園)
	19	のびっ慈 day (立体パズル作り)		17	昼食会
	30	昼食会		20	のびっ慈 day (布すごろく作り)
6	13	昼食会	11	24	昼食会
	22	グループワーク (神戸電鉄車庫見 学)		30	ハロウィンパーティー
	25	のびっ慈 day (缶バッチ作り)		9	グループワーク (伊丹スカイパー ク・インスタントラーメン発明記念 館)
	27	昼食会	11		昼食会
	29	個別懇談会 (希望者対象) (7/4まで)	21	昼食会	
7	21	昼食会	12	24	のびっ慈 day (ドッジボール)
	24	昼食会		30	個別懇談会 (希望者対象) (12/5まで)
	27	昼食会		12	12
	28	のびっ慈 day (シャボン玉作り・ パズル作り)	25		クリスマス会
	30	ベイ板宿スイミング	28	昼食会 のびっ慈 day (かるた作り・お菓子 作り)	
8	3	昼食会	1	7	もちつき
	4	スイカ割り		16	昼食会
	5	交通安全教室	2	26	のびっ慈 day (鬼の面作り)
	6	ベイ板宿スイミング		3	節分 (まめまき)
	7	ボランティア (昔遊び)		13	昼食会
	10	のびっ慈 day (風鈴作り)	3	19	のびっ慈 day (デコチョコ作り)
	11	昼食会		27	昼食会
	17	昼食会	3	3	ひな祭り (雛壇を飾る)
	18	ボランティア (布でおもちや作り)		23	昼食会
	19	昼食会		24	お別れ会
	20	ベイ板宿スイミング		25	昼食会
	21	のびっ慈 day (プロペラ工作・ 水遊び)		28	のびっ慈 day (大倉山公園)
	24	地藏盆			
	25	昼食会			
	26	映画会 (東川崎自治会招待)			
	27	ベイ板宿スイミング			
	28	運動遊び (中央体育館)			
31	屋台村				

10. 《利用人数》

初日在籍数 (人)

学年 月	1年	2年	3年	合計	学年 月	1年	2年	3年	合計
	4	15	8	13		36	10	15	7
5	15	8	13	36	11	15	7	12	34
6	15	8	13	36	12	15	7	11	33
7	15	8	13	36	1	15	7	11	33
8	15	7	12	34	2	14	7	11	32
9	15	7	12	34	3	14	7	11	32

11. 《リスクマネジメント報告》

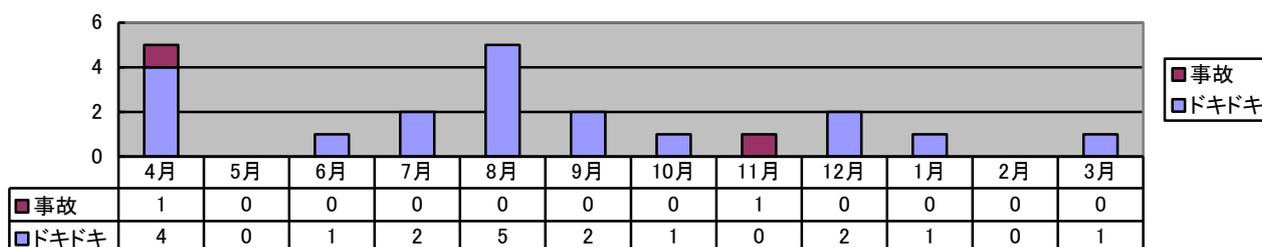
① 27年度ヒヤリハット報告件数・・・19件

※26年度年間報告件数21件

27年度事故報告件数・・・2件

→事故の内1件は、外遊びの際に児童同士がぶつかり、左足が捻挫となったもの。もう1件は、他児より頭を蹴られた児童が嘔吐した為、病院を受診したもの。(嘔吐後、熱を計ると38.1℃あり、受診結果として、嘔吐は蹴られた事が原因ではないと判明する。)

ヒヤリ報告(件数)

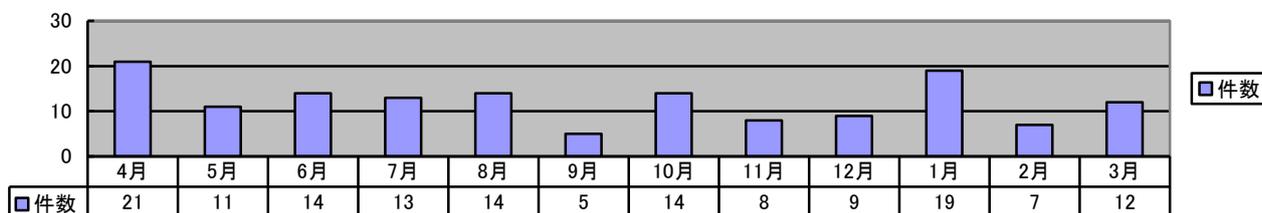


② 27年度ヒヤリハット以外のケガ報告件数 (ケガノート)・・・147件

※26年度年間報告件数173件

→長期休みやグループワークの際に起こるケガが多い。

ケガ報告(件数)



③発生場所

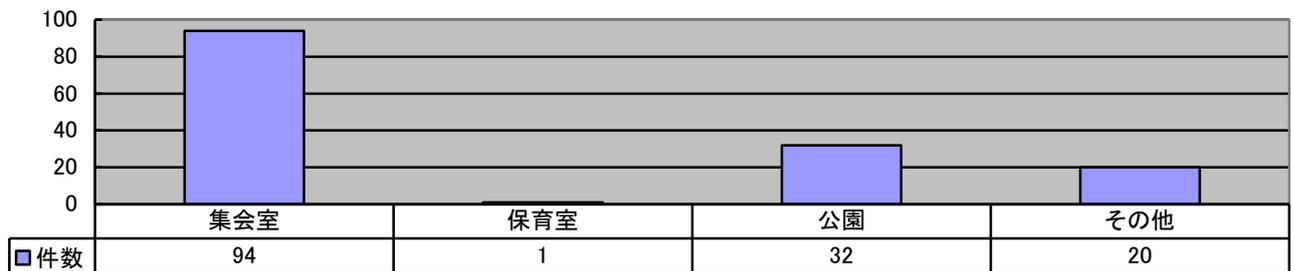
→子どもの対応時に関する報告が多い為、集会室が多い。その他の1件は、グループワーク（遠足）に行ったもの。

ヒヤリ報告(場所)



→集会室で過ごす時間が多い為、それに比例して件数も多い。

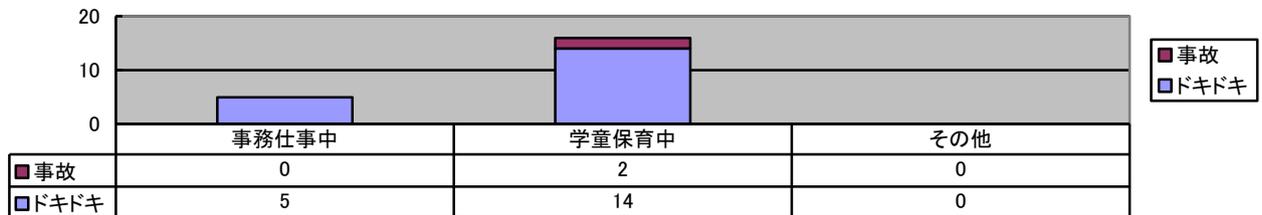
ケガ報告(場所)



④発生状況

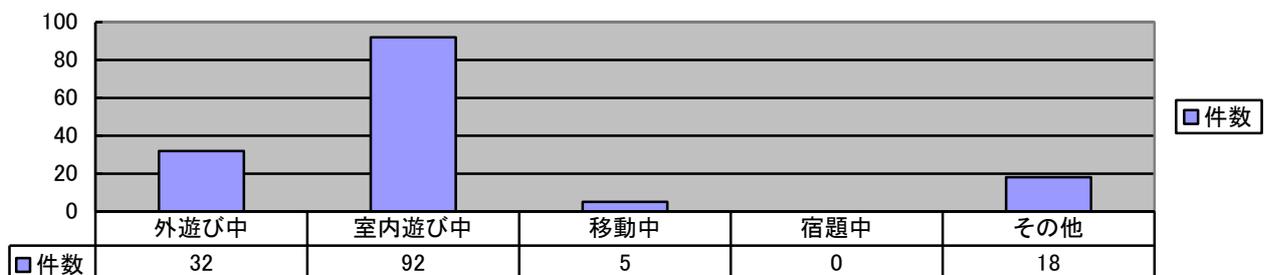
→発生場所と同様、子どもの対応中に関する報告が多い為、学童保育中が多い。

ヒヤリ報告(状況)



→室内（集会室）で過ごす時間が長い為、それに比例して件数も多いが、外遊び中のケガも多い。

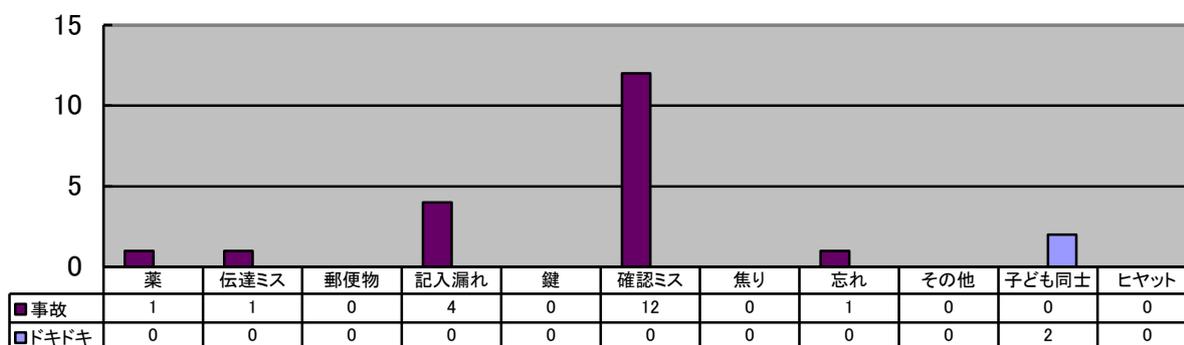
ケガ報告(状況)



⑤発生内容

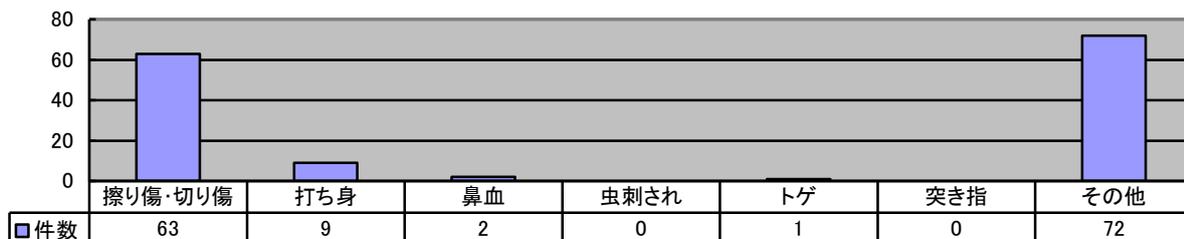
→職員による確認ミスが多く、伝達ミスや記入漏れミスへと繋がる事が多い。薬のミスはグループワーク中に起こったもの。

ヒヤリ報告(内容)



→外遊び中のケガが多い為、すり傷・切り傷が多い。その他のケガは、床等で頭を打ったり等のケガを含めている為、一番多い。

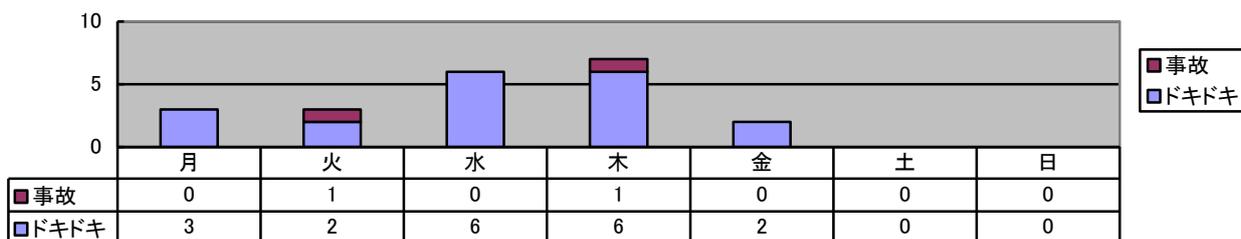
ケガ報告(内容)



⑥発生曜日

→曜日に関する特記事項はなし。

ヒヤリ報告(曜日)



⑦発生時間帯

→学童が利用する時間帯（9時～17時）が多い。

ヒヤリ報告(時間)



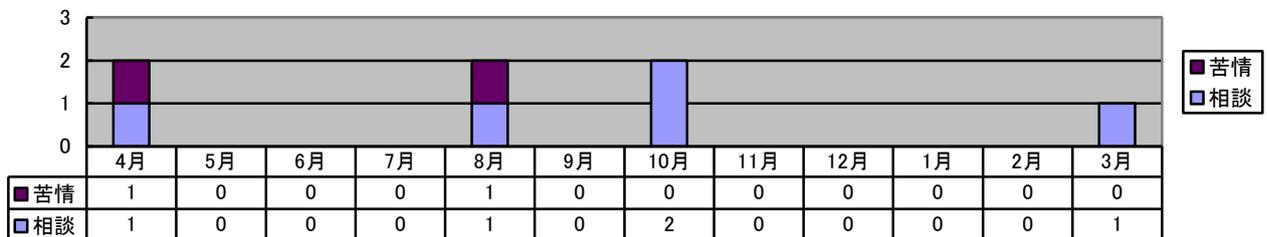
⑧まとめ

- ヒヤリ→前年度に引き続き、職員の確認ミスが多い。引き継ぎの際の見落としや対応ミスが見られた為、丁寧な対応が出来る様、職員一人ひとりが責任を持つ事を意識出来る様に努めていきたい。
- ケガ報告→遊び中に起こるケガが殆どだが、児童同士がぶつかり、頭等を打つというケースもあった。幸い、大きなケガはなかったが、ケガが起こった際、迅速に処置が出来る様、日頃より職員一人ひとりが知識を高め、対応できる様に努めていきたい。

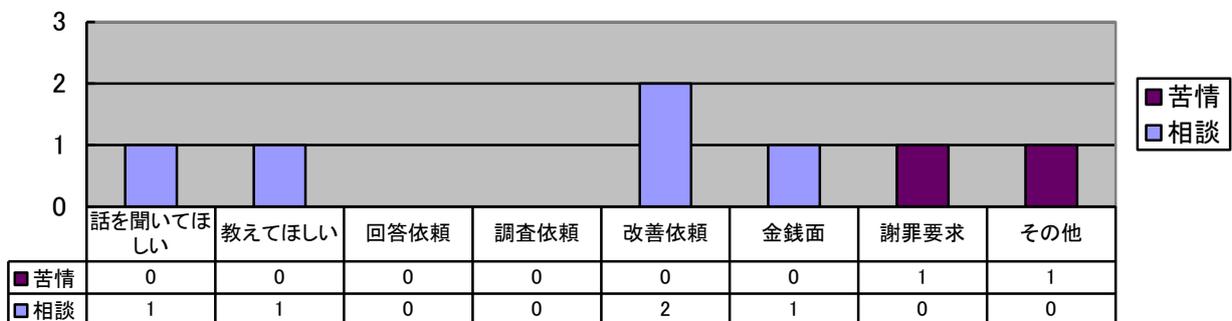
1 2. 《苦情・相談結果報告》 苦情の定義→施設長が状況を見て、苦情か相談かを判断する。

○報告件数…苦情2件、相談5件

苦情・相談報告(件数)



苦情・相談報告(要望)



○主な内容

相談→保険適用について、子ども同士のトラブル、子どもが学童へ行きたがらない、行事の曜日を変更してもらいたい。

苦情→職員の対応。

○まとめ

職員の対応についての苦情が2件あり、職員の伝え方に問題があった。2件とも電話、連絡帳でのやり取りであり、対応にはより慎重にならないといけない場面であった。直接、会って対応できない時ほど、丁寧な言葉使い、相手が不快な思いをしない伝え方が必要である為、その都度、職員間でどの様な伝え方が良いかという事を話し合っ、対応していく様に努めたい。

13. 《総括》

昨年度に引き続き、学童の入会希望者が多く、4年生以上の学童保育についても問い合わせがあった。それだけ地域福祉としてのニーズがある事や、国の方針からも、放課後児童支援員認定資格を有した者の配置等、変化が見られてきた。今後も、時代の流れや地域の方々のニーズに沿った福祉サービスが提供出来る様、職員一同、資質の向上に努め、学童保育事業を行っていききたい。